

## 地球温暖化対策計画書

令和 6 年 7 月 16 日

香川県知事 殿

提出者

住所 香川県善通寺市仙遊町2丁目1番1号

氏名 独立行政法人国立病院機構四国こどもととなの医療センター

院長

前田 和寿

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第1項の規定により、地球温暖化対策計画を作成したので、次のとおり提出します。

事業者の主たる業種	83 医療業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に医業及び関連サービスの提供
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	様式1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	様式1のとおり
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度
計画の公表予定年月日	令和 6 年 7 月 31 日
計画の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：当院ホームページ
連絡先	担当部署 事務部企画課 担当者 萬年繁樹 電話番号 0877-62-1000 FAX番号 0877-62-6311 電子メールアドレス 518-ey11@mail.hosp.go.jp

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

## 事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	四国こどもとおとなの医療センター	香川県善通寺市仙遊町2丁目1番1号	第一種
2			
3			
4			
5			
6			
② その他の事業所			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

## 温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		令和 6 年度 ~ 令和 8 年度			
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容			
	6	緑地整備の実施			
	7	緑地整備の実施			
	8	緑地整備の実施			
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの吸収等	区 分		目標年度 (令和 8 年度) 二酸化炭素換算 (t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等		t-CO <sub>2</sub>	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用		t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン電力証書の購入		t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン熱証書の購入		t-CO <sub>2</sub>	
		オフセット・クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>	
		国内クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>	
		J-クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>	
	非化石証書の購入		t-CO <sub>2</sub>		
	合 計		①		t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 5 年度)	目標年度 (令和 8 年度)	対基準年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 6,408 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t))③ 6,215 t-CO <sub>2</sub>	97.0	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 6,408 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t))③-① 6,215 t-CO <sub>2</sub>	97.0	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B				
	温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B				
目標設定に関する説明	国立病院機構において年平均1%以上の低減を目標としており、3年で3%の削減を目標に設定した。				
特記事項					

(注)

1 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、

3 「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」

の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」

4 「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量 (原単位排出量) を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。

5 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。

【別表 6】

(令和 5 年度)

事業所名 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 四国こどもとおとなの医療センター

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL				
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	ジェット燃料		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油		kL			kL				
	A重油	3.43	kL	133		kL		133	9.4	
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	石炭	輸入原料炭		t			t			
		コークス用原料炭		t			t			
		吹込用原料炭		t			t			
		輸入一般炭		t			t			
		国産一般炭		t			t			
		輸入無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
	高炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
	発電用高炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
	転炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
その他の燃料										
小計 ①									9.4	
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (十m <sup>3</sup> )	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
		数値 D	単位		数値 F	単位				
都市ガス		685	十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>	685	1,617.3		
小計 ②									1,617.3	

	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
非化石燃料	黒液	t			t				
	木材	t			t				
	木質廃材	t			t				
	バイオエタノール	kL			kL				
	バイオディーゼル	kL			kL				
	バイオガス	十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
	その他バイオマス	t			t				
	RDF	t			t				
	RPF	t			t				
	廃タイヤ	t			t				
	廃プラスチック(一廃)	t			t				
	廃プラスチック(産廃)	t			t				
	廃油	kL			kL				
	廃棄物ガス	十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
	混合廃材	t			t				
	水素	t			t				
	アンモニア	t			t				
	その他の非化石燃料								
小計 ③									
エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		数値 D	単位		数値 F	単位			
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気	GJ			GJ			
		産業用以外の蒸気	GJ			GJ			
		温水	GJ			GJ			
		冷水	GJ			GJ			
		その他	GJ			GJ			
	その他使用した熱	地熱	GJ			GJ			
		温泉熱	GJ			GJ			
		太陽熱	GJ			GJ			
		雪氷熱	GJ			GJ			
		その他	GJ			GJ			
小計 ④									

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		数値 D	単位		数値 F	単位			
電気	電気事業者からの買電		10846	千kWh			10,846	4,781.4	
	上記以外 の買電	オフサイト型PPA		千kWh					
		自己託送(非燃料由来の非化石電気)		千kWh					
		上記以外の自己託送		千kWh					
		その他		千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh					
		風力		千kWh					
		地熱		千kWh					
		水力		千kWh					
		その他(非燃料由来の非化石)		千kWh					
		その他		千kWh					
	小計 ⑤								4,781.4
	合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ⑥=①+②+③+④+⑤								6,408.1

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) : 日本エネルギー総合システム株式会社 0.000416 株式会社藤田商店 0.000515 四国電力株式が社 0.000454

【別表 5】

(令和 5 年度)

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数									
	ガソリン (kL)		軽油 (kL)		LPG (t)		都市ガス(CNG) (千m <sup>3</sup> )		その他	
	台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)	
	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く
四国こどもとおとなの医療センター										
合計										

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン		kL		33.4	GJ/kL	
軽油		kL		38.0	GJ/kL	
LPG		t		50.1	GJ/t	
				排出係数		
				数値 D	単位	
都市ガス(CNG)		千m <sup>3</sup>			t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	
合計						

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ( )

集計表

区分	令和 5 年度 (t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2 又は別表 6)	6,408
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
合計	6,408